



Shobara Silver

庄原シルバー

会報
夏季号
2021.7



—主な内容—

- 理事長あいさつ ……2
- 第31回定時総会 ……3
- 勤続表彰 ……4
- 予算・決算 ……5
- 互助会だより ……6
- 安全委員会 ……7
- 事務局だより ……8
- コロナ禍でも懸命に ……10

会員スローガン

明るく 楽しく 元気よく

今日も一日社会貢献

健康長寿を丸ごとサポートする

シルバー人材センター

あだち



公益社団法人 庄原市シルバー人材センター

理事長 田村 富夫

人生が長くなり「健康寿命を延ばそう」というフレーズが、テレビ・新聞や行政からの文書などでよく見かけるようになりました。日本は世界一の長寿になりましたが、健康寿命は男性72歳、女性74歳と低いのだそうです。平均寿命と健康寿命のギャップは男女とも約10年。そして、その間の重ねた歳月に、

腰も曲がり、終には、歩けなくなり、食べられなくなり、認知できなくなるのだそうです。その当たり前のことに、ようやく気づきます。うーん、すわ一大事。

私も古希を過ぎてから、それなりに老いと向き合う日々、しのび寄る「それ」に気づくようになりました。ごたぶんにみれず、顔は覚えていたのに名前が出てこなくなり、わずかの段差につきまづき、お茶を飲んでほひどくむせるようにもなりました。体力も気力も明らかに衰えている。人はこうして心身ともに老いさらばえて、もうろくしていくものかと。正面から向かい合うのが怖いと同時に、長い老後の生活を自

らの力で乗り越えていこうとする高い関心をもつようになりました。元気でいようと、段々畑での野菜づくりを楽しみ、雨にも負けずウォーキングを日課にして欠かさないのも、その現れなんでしょう。

高齢者が、自信と安心感をもって自分らしく生き、「自立」した生活を送るためには、健康を維持することが大切です。国も75歳以上を対象にフレイル健診を導入して、健康長寿をめざしています。庄原市も早くから介護予防のためのシルバーリハビリ体操の普及につとめています。子どもにも迷惑をかけずに、どう老い、元気に健やかに暮らしつつづけられるかというところは切実な願いです。そして、それをそつと支える社会の在り方が大切になっています。

私たちの先輩たちは、高齢者が地域で、「自主」的に連帯し、共に助け合っているという思いを、「自主・自立・共働・共助」の基本理念にこめました。「経済的」に心もとなくなり、身体的に暇をもて余し、また体を動かすことから遠ざかり

病気がちになり、社会的に小さくなって孤立しがちな高齢者を包摂する地域社会の中の組織をつくらうとしました。「生きがい就業」という言葉を生み出して、今日ますます進展している。超高齢社会を作る上でかけがえのないインフラであり制度になったシルバー人材センターを創り育ててくれました。法律で位置付けられたのは、昭和61年のことでした。

高齢者は、お金が入ってこず、健康でなくなるなど、何事にもなじめなくなり、一日が長すぎて不安になる。そして、気分がふさぎ孤独に涙があふれることもあると聞きます。こうした、いずれもぜんぶ、シルバー人材センターは解決に向かわせてくれます。働くことによつて多少の経済的ゆとりを生み出し、働くために生活リズムを整えて、食べられるものにも気をつけて、元気でいなければなりません。健康管理に自ずと関心も出てきて、生活にメリハリを生み出し、生活感を充実させます。

より重要なことは、シルバーが理念とする毎日の「共働・共助」による就労を通して会員同士の仲間意識が芽生え、いままの地域社会そのままの地縁や近所づきあいだけではなかなか期待できない人間関係の幅が広がり、日々の励みにもなります。退職後に感じる喪失感や孤立・孤独感の解消につながります。何事にも養生が肝要で、生きがい就労は、医療や介護への強力なセルフケアといえます。

先輩たちは熱く語っています。高齢

者が、一人の人格として堂々とその存在を主張してゆくためには、社会の一員として働けるうちは働いて、誰かに必要とされ、世の中の役に立っているという意識があるのでということに敬意を込めて述べています。それを、私自身にたまされて読み、いままその感動と共感のなかにいます。高齢者の「自主・自立」した人格の礎は、こうしてすわらなくてはならないと合点します。「明るく、楽しく、元氣よく、今日も一日社会貢献」、この庄原市シルバー会員スローガンに、会員の皆様の大きいな気概を感じて、しかと理解します。

高齢者が働いていれば余生も老後もやつては来ません。ほどよい仕事は元氣の源、健康長寿の薬です。福沢諭吉の心訓を引くまでもなく、一番さびしいのは、する仕事のないことで、日が一日、ぼんやりとなすこともなく暇をもてあますことです。高齢者が社会から退かずに、生涯現役を生きぬくことは、人生百年という超長寿時代の要請です。そして、高齢者の「生きがい就業」を通しての「健康・元氣づくり」が、シルバー人材センターの本来のミッションであり、就業の目的です。その役割と使命を、あらためて長生き人生のよろず健康法として、より確かなものとし、元氣で健やかな老いをつくり、氣高く尊く、胸はって、長寿期の人生をゆつくりのんびり、しっかりと楽しみ、生き抜きたいものです。

コロナ禍の憂鬱な毎日が続いていますが、皆様お体を大切に、体調を崩さないようくれぐれもご自愛ください。

新型コロナウイルスにより 定時総会を縮小開催

4議案が承認される。



総会開会宣言の後、田村理事長があいさつを行い、広島県の緊急事態宣言は6月20日に解除されたが、連合会や県、市の指導や助言により、関係法令に沿った手続き、準備を経て総会の規模を昨年よりさらに縮小して開催することとなった経過を説明しました。今後においても、コロナ禍は私たちの生活に大きな影響を及ぼし続けると考えるが、高齢者の豊かな暮らしを創り上げ、先輩たちが創ってくれたこの組織を守っていくため、役員会員の皆様になお一層のご指導とご鞭撻を頂くようお願いしました。

第31回定時総会が去る6月24日、庄原市シルバー人材センター本所において開催されました。

今回の総会は広島県に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が20日まで発令されていたことから、昨年度の縮小開催よりもさらに出席者を縮小しての開催となりました。

続いて、永年勤続者としてセンター会員20年以上の表彰者が6名、10年以上の表彰者が22名と報告されました。表彰者を代表して松島達男氏に、理事長から表彰状と記念品の贈呈があり、松島達男氏から今後の抱負をお聞かせ頂きました。総会の議長選出では、坂田虎美氏を選任し、定足数報告は、6月24日現在の会員総数は443名であり、総会出席者6名と議決権行使者307名を合わせて313名であることから、出席または出

席とみなす者が過半数に達しており、総会は成立していると事務局から報告があり、続いて議事録署名人に松島達男氏と岡田隆博氏を選任しました。

議事の議案第1号 令和2年度事業報告及び決算の承認について、事業実績は対前年度比で5.1%増で、特に公共事業の受託が大きく増えたことや、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種会議・講習会、研修会が中止や延期となり、ボランティア活動が開催数、参加者数ともに大きく減少したこと、さらに決算状況などについて事務局から説明があり、続いて、令和3年5月10日に行われた令和2年度決算監査について報告がされました。

議案第1号について、出席者からの質疑はなく総会出席者と議決権行使者の賛成多数で原案のとおり承認されました。

続いて、議案第2号 公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款の一部改正について、関係法律の改正を受け、成年被後見人または被保佐人の会員喪失の適用を削除すること、およびセンターの公告方法を掲示から電子公告に改める旨の提案説明が事務局からあり、議案第2号について、出席者からの質疑はなく総会出席者と議決権行使者を合わせ3分の2以上の賛成多数で原案のとおり可決されました。

議案第3号 公益社団法人庄原市シルバー人材センター役員報酬等及び費用に関する規程の一部改正について、事務局から、関係法律の施行に伴い

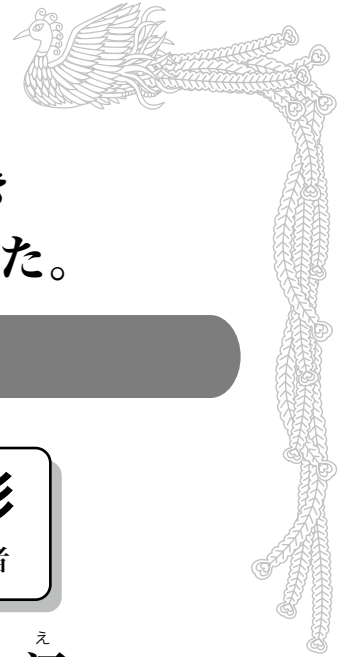
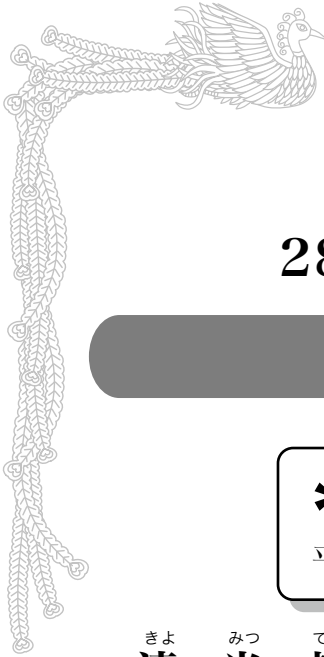
職員就業規則等を整理したことから、同規程の一部を改正する旨の提案説明があり、議案第3号について、出席者からの質疑はなく総会出席者と議決権行使者の賛成多数で原案のとおり可決されました。

議案第4号の理事長に対する権限委任についても、出席者からの質疑はなく総会出席者と議決権行使者の賛成多数で原案のとおり承認されました。

報告第1号の令和3年度事業計画及び収支予算等について、会員数、就業事業受注額や会員就業率の目標値及び傷害事故・物損事故をそれぞれ0件の目標とし、さらに国が示す適正就業ガイドラインの遵守に重点的に取り組んでいくとの説明が事務局からありました。

以上で、すべての議事、報告が終了したことから議長が解任となり、定時総会を無事終了することができました。





表彰

この度、表彰規程に基づき
28名の会員が表彰されました。

勤続表彰

***センター会員20年表彰**
平成12年4月1日～平成13年3月31日入会者

ぎよ 清 ふじ 藤 こ 河	みつ 光 もり 森 うち 内	てつ 哲 くん 勲 より 和	こ 子 し 猪 こ 子	板橋町 本村町 西城町	かど 門 つね 常 く 久	の 野 しま 島 ぼ 保	やす 康 たけ 武 まれ 希	え 江 お 大 と 登	口和町 高野町 比和町
------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	----------------------------	-------------------	------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	----------------------------	-------------------

***センター会員10年表彰**
平成22年4月1日～平成23年3月31日入会者

あお 青 おか 岡 かわ 川 くら 倉 さか 酒 たけ 竹 たけ 竹 つた 蔦 なか 中 ひろ 広 うめ 梅	き 木 もと 本 もと 本 いし 石 い 井 した 下 ひさ 久 むら 村 たに 谷 だ 田	よし 義 たく 拓 はる 春 まさ 正 とも 知 けん 研 りつ 律 しげ 重 ま 真	かず 和 し 司 お 夫 すすむ 進 とみ 富 え 枝 じ 児 さとし 叡 こ 子 のぶ 信 ち 知 子	上原町 上原町 水越町 川北町 板橋町 本町 川手町 三日市町 三日市町 峰田町 西城町	すみ 住 ひさ 久 まつ 松 い 井 くら 倉 しら 白 よこ 横 おく 奥 と 戸 きし 岸 ゆずり 杠	だ 田 もり 森 しま 島 がわ 川 さこ 迫 いし 石 やま 山 やま 山 だ 田 だ 田	えつ 悦 のぶ 信 たつ 達 けい 啓 とも 智 ゆく 行 こう 幸 とし 敏 せい 誠 かく 角	こ 子 こ 子 お 男 こ 子 のり 憲 と 人 じ 二 かず 和 じ 治 さとし 訓 お 雄	西城町 西城町 西城町 東城町 東城町 東城町 東城町 東城町 高野町 高野町 比和町 比和町
---	---	--	--	--	--	---	--	--	--

令和3年6月24日開催の第31回定時総会において、令和2年度決算が承認され、令和3年度予算について報告されました。

令和2年度 決算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:円)

科 目	決 算 額
I.一般正味財産増減の部	
1.経常増減の部	
(1)経常収益	
受託事業収益	165,430,486
労働者派遣事業収益	2,294,554
庄原市委託事業収益	500,000
受取会費	463,000
受取補助金等	35,020,670
受取負担金	616,520
特定資産運用益	220
雑収益	488,746
経常収益計	204,814,196
(2)経常費用	
事業費	198,490,457
管理費	3,397,469
経常費用計	201,887,926
評価損益等調整前当期経常増減額	2,926,270
当期経常増減額	2,926,270
2.経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
什器備品除却損	1
経常外費用計	1
当期経常外増減額	△ 1
当期一般正味財産増減額	2,926,269
一般正味財産期首残高	25,382,307
一般正味財産期末残高	28,308,576
II.指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III.正味財産期末残高	28,308,576

令和3年度 予算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)

科 目	予 算 額
I.一般正味財産増減の部	
1.経常増減の部	
(1)経常収益	
受託事業収益	167,867,000
労働者派遣事業収益	2,270,000
庄原市委託事業収益	500,000
受取会費	500,000
受取補助金等	40,115,000
受取負担金	687,000
受取寄付金	1,000
特定資産運用益	1,000
雑収益	62,000
経常収益計	212,003,000
(2)経常費用	
事業費	208,524,000
管理費	3,479,000
経常費用計	212,003,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0
当期経常増減額	0
2.経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	28,308,576
一般正味財産期末残高	28,308,576
II.指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III.正味財産期末残高	28,308,576

役員会開催

互助会 だより

長寿会員祝賀会・新年互礼会など承認

役員会は新型コロナウイルス感染規制などで開催が延びのびになっていましたが、ようやく6月30日に換気等に配慮のうえ開催され、令和2年度の事業、収支決算などが承認され、令和3年度の事業、収支予算案なども可決されました。

主なものは次のとおりです。

- ◎庄原シルバーの日 中止
- ◎研修及び親睦旅行 中止
- ◎長寿会員祝賀会・新年互礼会
●開催予定：令和4年1月



※新型コロナウイルス感染症などその時の状況に左右されますのでご承知おきください。

同好会助成金

7つある同好会へ一律20,000円助成していますが、最大会員数を擁する(72名、その内支部会員が半数を占める)グラウンドゴルフへ20,000円増額することが採択されました。

同好会活動 再開しています

カラオケ：第3土曜日 14:00より
 グラウンドゴルフ：7/17 9/4 10/22 11/19
 パソコン：毎週土曜日
 園芸：8/12 9時より盆花販売
 レクリエーション：毎週月曜日 吹矢

監事 川本 春夫
 監事 中村 貴美子
 手配 地田 丸
 レクリエーション 金丸 澤
 園芸・苔玉 須金 丸
 しめ縄・門松 永山 光
 パソコン 咽 宏
 グラウンドゴルフ 脇 勝
 カラオケ 宮 行人

◎同好会選出幹事

総務 比高 口東 西
 領和 野和 城城
 甲石 小兵 井中 伊栗 篤田 森
 下原 瀧間 川島 藤原 中元 川口
 季久 忠啓 康美 和
 肇雄 登則 子憲 子夫 叡枝 三志 積

◎地区選出幹事

副会長 長瀬 小
 庶務・会計 永宮 山脇 瀧
 高野 佐々川 川口 山脇 瀧
 千積 久登

新役員紹介

安全委員会

7月は『安全・適正就業強化月間』です。事故や熱中症に注意しましょう。

◆庄原市シルバー人材センター安全就業スローガン



◎いつまでも 若いと思うな 事故のもと (松崎 寧)

◎気を抜くな これくらいならと

思う心がミスのもと (宮脇みつ江)

◆このスローガンを胸に事故を起こさないように心がけましょう。

事故発生状況

職種区分	事故種別	年齢	男女	概要
草刈	物損	67	男	庭の草刈り作業を刈払い機により行っていたところ、小石を飛ばしてしまい窓ガラスを破損させた。石が飛ばないように回転数や刈る方向も考えて刈っていたが、飛散防止用の養生をしていなかった。
草刈	物損	85	男	草刈作業を終え、刈払い機のエンジンを止め移動しようとしたところ惰性で回っていた刈刃が後方から来た軽トラックの運転席側前輪ホイールに接触した。周囲の安全確認を怠っていた。

★熱中症にならないように十分注意しましょう★

《熱中症予防のポイント》

- ①日頃から睡眠や栄養バランスの良い食事を十分にとるなど体調に気を配る。朝食抜きは厳禁
- ②作業前・作業中・休憩時などに水分をこまめにとる。大量に汗をかく場合は、塩分もとる。また、のどが渇かなくてもこまめに水分補給を行う
- ③就業場所の風通しに配慮する
- ④服装は、通気性や吸湿性の良いものを身につけ、高温下では頭部や首筋に冷やしたタオルを巻いたり、屋外では帽子をかぶる
- ⑤就業中は、無理せず、冷房のある施設や日陰などの涼しい場所で、休憩を十分にとる。屋外での単独作業の場合は、定期的に連絡をとる



《マスクの着用について》

マスクは飛沫の拡散予防に有効で、「新しい生活様式」でも一人ひとりの基本的な感染対策として着用をお願いしています。ただし、マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。

したがって、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。

マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。

ごあいさつ



やまもと
山本 卓
すくろ

令和3年4月1日付で業務担当として採用していただきました。山本卓と申します。

昨年5月より、嘱託員としてお世話になっておりました。

会員の皆様には、繁忙期中の炎天下での就業等、日頃よりセンターの事業運営にご協力いただき、この場をお借りして感謝申し上げます。

何かと未熟で、皆様にはご心配ご迷惑をおかけすること存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



あだち
足立 稔
みのる

令和3年5月1日付で、就業支援員として採用頂きました。足立稔と言います。

ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、一つ一つセンターの業務に慣れるよう努力してまいりますので、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

令和3年7月より会員の携帯電話に ショートメッセージ(SMS)※で センターからのお知らせを一斉送信 するサービスを開始いたしました。

※携帯電話番号を用いた短文でのメッセージ

■ショートメッセージ受信可能な携帯電話

- ・スマートフォン
- ・ガラケー
(従来のフィーチャーフォン)

■想定メッセージ内容

- ・お知らせ、緊急連絡
- ・就業募集
- ・個別のご連絡 など

本文内のURLをクリックいただくことで会員がメッセージをご確認されたか否かがセンターで分かります。ご協力の程、宜しくお願い致します。

■ショートメッセージ送信元の番号について

- ・NTT docomo, au, 楽天モバイルをお持ちの方:
050-5491-4105からメッセージが届きます。
- ・Softbank, Y!mobileをお持ちの方:242244から
メッセージが届きます。

センターからのメッセージは必ず上記番号から届きますので、ご安心ください。

アドレス帳に登録いただくと便利です。上記番号には電話やメッセージ返信をいただいてもセンターには届きません。一部キャリア(SoftBank, Y!mobile, 楽天モバイル)や機種によっては返信できたように見えますが、実際には返信できておらず、送信料も発生致しません。

■ご注意事項

- ・メッセージの受信には料金はかかりません。
- ・携帯電話のご契約プラン(無料通信分が全く無い場合など)によっては、メッセージ本文内のURLをクリックするとパケット通信料実費が発生する場合がございます。



庄原の昔話

⑨ 六部の谷

むかし、ふたりの六部が、どこからともなく中領家にやってきました。

六部とは、国ぐにの霊場を巡って、お経を納めて歩く行者のことです。日本六十六か国を歩き法華経を一部ずつ納めることから、六十六部なのですが、略して六部といわれています。

この六部は、平安時代に一法師が諸国を回ったのが始まりです。

さて、中領家から上領家や神石方面、五箇へ通じる往還は、五郎丸のかみから領家川を渡って大町にあり、岩田を通って、丸山から妙知峠(みょうちだお)に出ていました。

領家川の渡し場は難所で知られ、岩盤でできた川瀬は水量も多く、広い川は飛び磯といって流れに石を並べて、かろうじて横切れるだけでした。

人々の難儀のようすを見たふたりの六部は、何とかしなければと考えました。そしてふたりの大工事が始まったのです。岩盤を砕く作業は、なみたくてではありません。仕事の出来ない雨の日や夜は、村を歩いて食物を乞い、近くの堂に寝泊りしながら一生懸命に仕事をしました。

はじめの頃は、みすぼらしい旅の六部に全く無関心であった村の人たちも、2人のようすに心を動かされ、力を貸すようになりました。そしていつのまにか、村中が総出で六部といっしょになって、岩を砕き橋をかける作業に精を出したのでした。

脳トし まちがいさがし

右の絵は左の絵とちがうところが全部で9個あります。見つけたら○で囲んでください。



好評の盆用 切り花を販売

◎8月12日(木) 午前9時～

◎熊手なども販売します
※会員の出品も歓迎
(花・野菜など)

会 員 募 集



(入会説明会) まずは次の入会説明会へお気軽においで下さい。

- 8月20日(金) ○ 9月21日(火) ○ 10月20日(水)
- 11月22日(月) ○ 12月20日(月) ○ 1月20日(木)
- 2月21日(月) ○ 3月22日(火)

いずれの日も午前10時からシルバー人材センター本所、各支所で行います。

編集後記

◆新型コロナウイルスの感染は、東京や大阪などの大都市で大変な問題となるだろうと思っていました。今年になって庄原市内でも感染者が見つかり、かなりの数の陽性者が入院や自宅隔離などで治療されました。この感染拡大により、庄原市から公共施設の利用中止や人の集まりを極力避けるような対策が要請され、シルバー人材センターの活動も、総会や様々な会合が省略や中止または縮小されております。

◆そうした中で65歳以上から始まりましたワクチン接種ですが、皆様方の接種状況は如何ですか？接種会場に行って思ったことですが、医師や看護師、案内等関係スタッフの対応が明るく丁寧で、受付から接種、待機までがスムーズに流れているのに感心しました。庄原市の接種方法をオペレーションし、素晴らしいチームワークで進められていることに、庄原市民の一人として感謝し嬉しく思います。

◆本会報が届くころには、新型コロナウイルスが収束の方向に向かっていることを期待しつつ、また暑い夏を迎えます。どうぞ熱中症にはくれぐれもご注意ください、お体をこ自愛ください。

ついにこの難所に
にりつぽな橋がで
きあがりました。
長い間の苦勞が報
われて、村は喜び
にわきました。そ
してどんなに六部に感謝したことでしょう。でも気がつ
いてみると、もう六部の姿はどこにもありませんでした。
村人たちは、自分たちの難儀を救ってくれた六部のこ
とが忘れられず、橋のたもとに記念の供養塔を建て、交通
の安全を祈願したということです。(中領家)



六部の碑

「総領読本 輝け総領」より

コロナ禍でも 懸命に



主田初美さん(西城) 数基の長いビニールハウスにジャガイモ、夏白菜など種々栽培されていました。「庄原シルバーの日」の農産物出品にたびたびご協力いただいています。



毘沙丸カズ子さん(庄原) 庄原シルバーの日などに立派な菊の花をだされていましたが、昨今の状況ですので今は知人などへ配られているそうです。盆から正月まで咲くので楽しんで手入れしておられます。



田村富夫さん(西城) 理事長の職務の傍ら野菜を作っておられると聞いたのでお伺いしてみると、45度もあろうかという傾斜に7枚の段々畑があつていろいろなものが植えてあり、手入れが行き届いていました。特にトウモロコシやサツマイモは孫や子供が喜ぶといわれましたが、帰省をためらわれ顔が見られないのが残念とのことでした。



新田トキ子さん(庄原) 取材のお願いをしたところ「自宅の裏に3枚の畑があつたが体調を崩した時に、水田に還して今は無い」といわれましたが、少し離れた所に広い畑があり、そこに馬鈴薯、キャベツ、豆など植えられていました。草1本も無いのには驚きました。「こんなに沢山どうされるんですか」と聞いたら市場へ出荷するとのことでした。



海渡基曹さん(庄原) しめ縄・門松同好会のしめ縄用の苗を毎年時期を遅らせて作っていただいています。(6月7日)

表紙の説明

主田初美さん(西城) こんにはやくいもの赤ちゃん「生子(きご)」と呼ばれる種イモの植え付けから、こんにはやくいもを収穫するまでに3~4年という月日を要します。貯蔵しておいたものを植え付けまた掘り上げて貯蔵し、また春に植え付けます。

■題字/伊藤 昇(元理事長) ■会員スローガン/小池毅司(本村町)

■編集・発行 公益社団法人 庄原市シルバー人材センター 広島県庄原市三日市町20-13 ■夏季号 2021.7
TEL(0824)72-1135 E-mail:syobara@sjc.ne.jp <https://webc.sjc.ne.jp/syobara/>

■取扱い 庄原市 生活福祉部 高齢者福祉課 TEL(0824)73-1165